

令和5年度
自己評価

学校法人 都築科学学園
関東柔道整復専門学校

1 重点目標の達成計画

令和5年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>1. 学生募集の強化 新入生53名確保</p> <p>2. 退学率の抑制 中途退学率4%以下</p> <p>3. 教員の教育能力向上</p> <p>4. 国家試験合格率の向上 合格率88%以上（新卒）</p> <p>5. 就職率の維持 就職率100%を維持</p>	<p>1.</p> <p>(1) スポーツトレーナー養成コースを全面に打出し、高校訪問・部活動訪問により高等学校及び部活動顧問と連携強化を図り、教職員一丸となり学生募集に尽力する。</p> <p>(2) グループ大学への編入学及び専門学校への再進学制度によるスケールメリットを最大限に活用した広報展開を図る。</p> <p>(3) ホームページ・SNS・インターネット媒体等を活用し、本校の魅力を最大限にPRする事で認知度向上・資料請求獲得を図る。</p> <p>(4) 高校内・会場形式ガイダンスに積極的に参加し、直接接触の機会を最大限に生かし来校促進へ結び付ける。</p> <p>(5) オープンキャンパスの実施要領を見直し、学生スタッフを前面に押し出した活気ある雰囲気づくりにより出願率の向上に努める。</p> <p>2.</p> <p>(1) 学年や学生の特性に応じた指導計画を作成するとともに、担任による学生個別面談及び保護者面談で継続的な心情把握を実施する。</p> <p>(2) 外部委託のスクールカウンセリングを活用し、学生の抱える悩みの多様化に対応し、早期かつ有効な対策を講じる。</p> <p>3.</p> <p>(1) 目標を定め、継続的に自己を評価してスキルアップを図る。</p> <p>(2) 学生による授業評価を実施して授業内容、教育技法等の改善に努める。</p> <p>(3) 各種研修会参加、校内勉強会等により教育能力の向上を図る。</p> <p>4.</p> <p>(1) 学生の学習に臨む意欲を増進させ、学習成果が向上するよう指導体制の強化を図る。</p> <p>(2) 個別能力の把握と能力に応じた継続的な指導を実施する。</p> <p>(3) 校外・校内模試等を実施し、国家試験受験への意識を高め合格率向上に努める。</p> <p>(4) フォローアップ講座や国家試験対策講座等の早期実施により学力向上を図る。</p> <p>5.</p> <p>(1) 企業説明会、就職セミナーの成果分析による実施要領の最適化を図る。</p>

2 重点目標に関する自己評価

令和5年度重点目標	達成状況	評価及び今後の課題
1. 学生募集の強化 新入生53名確保	1. 新入生34名	1. 60名の入学定員に対し57%の充足率。本校の特色である『スポーツトレーナー養成コース』及び『グループ校への編入学・再進学制度』によるスケールメリットを最大限に活用した広報展開を行い、新入生獲得を図る。
2. 退学率の抑制 中途退学率4%以下	2. 退学者 0名	2. 直近3年間の退学率8.0%→8.2%→6.4%→0%と退学率は抑制されつつあるが、在籍者数が定員の51%に止まっていることから、引続き退学者0名を追求する強い信念を保持し、早期の処置・対策を行う必要がある。
3. 教員の教育能力向上	3. 授業アンケートの結果は、各教員が理解容易で魅力ある授業を実施しているとの評価を得た。教育能力の更なる向上に努める。	3. 継続的な指導力育成・能力向上を図るため、教員の研修会等への参加を計画する。
4. 国家試験合格率の向上 合格率88%以上 (新卒)	4. 合格率 94.4% 全国平均84.0%	4. フォローアップチームによる、学力不振者の補習を行うとともに、国家試験対策講座等を行い、全国平均を上回る結果となった。引続き合格率向上に向けて学生サポートの拡充を図る。
5. 就職率の維持 就職率100%を維持	5. 就職率100% (就職希望者)	5. 合同企業説明会で学生の希望に沿った企業を招致し、就職率100%を維持するとともに「国家資格+スポーツ」に関わる新たな業種の開拓を図る。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向付けられているか	4	③	2	1

① 現状

学校の理念・目的・育成人材像については、事業計画等で明確に定められており、ホームページでも公開している。

学校の将来構想・育成人材像等については「スポーツトレーナー+柔道整復師国家資格」でスポーツ・医療業界で活躍できる人材「スポーツトレーナーのスキルを持った柔道整復師の養成」をコンセプトに、社会・業界・時代のニーズに対応した方向付けを行っている。

学校の理念・育成人材像などの周知は、学生に対しては新年度のオリエンテーション時に担任より学生便覧等を使用し、説明・周知を図っている。保護者に対しては保護者面談などで個別に説明・周知を図っている。

② 課題

教育理念・育成人材像等について、学生に対しては学生生活のあらゆる場面を通じて繰り返し周知徹底を行い、保護者に対しては保護者面談のみならず、保護者説明会やホームページ等を活用し、自己評価結果・学校関係者評価結果等を通じて、定期的に周知徹底を行う必要がある。将来構想は単科校であることから厳しい面もあるが、変革の時代に対応すべく修正・検討が必要だと思われる。

③ 今後の改善方策

全教職員が教育理念等、周知徹底を行い、将来構想についてはプロジェクトチームによる検討を実施し、教職員会議等を通じて情報共有及び共通認識を図る。

学生・保護者に対してはオリエンテーションや保護者面談のみならず、ホームルームレポート（学校通信）や保護者説明会（対面・オンライン）などを通じ、学校からの定期的な情報発信の強化を図り、連携を密にしながら学校の理念・目的・育成人材像等について周知徹底に努め、学校運営・教育活動に対して理解・協力を得ていく。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図れているか	4	③	2	1

① 現状

目的等に沿った運営方針、事業計画は適切に策定されおり、運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され有効に機能している。
 また、教育活動等に関する情報公開についても、授業科目やシラバス等はホームページで適切に公開・更新を行っており、ホームルームレポート（学校通信）によって学生・保護者に対し逐次情報提供・共有を行っている。
 今年度より学園グループ共通の新校務システム（スクールリーダー）が導入され、運用が開始されたが、操作マニュアルの整備が遅れている。
 学生の個人情報に関して一部が紙ベースで運用されたままとなっており、データ管理による校務業務の効率化は改善の余地が見受けられる。

② 課題

本格運用初年度であることから、システムを調整しながらの運用となっており、業務がスムーズに進まないケースも散見される。

③ 今後の改善方策

新校務システムの早期整備、操作マニュアルの完成により更なる業務の効率化を進めていくとともに、セキュリティ強化を図っていく。
 また、新校務システムにアクセス制限を設け、全教職員が学生管理システムを最大限に活用して業務の効率化・迅速化を行っていく。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 現状

教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等は策定されている。また、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされており、カリキュラムは規定に基づき的確に運用されている。
 授業評価は全科目、時期を定めて適切に実施している。
 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は学生便覧に記載し明確になっており、オリエンテーションを通じ定期的に学生に対し説明を行い周知徹底に努めている。また、判定基準はホームページで公開している。
 関連分野における業界等との連携において、医療・スポーツ分野で活躍する講師陣を迎え業界との連携構築を行っている。

② 課題

継続的な教員の指導力育成・資質向上及び職員の能力開発の為の研修等の参加。

③ 今後の改善方策

関連団体（学校協会・東京都私学財団等）が実施する人材育成のための講習会・研修等の情報収集・共有により、参加に向けて準備・計画を行う。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動に活用されているか	4	③	2	1

① 現状

就職率向上の為、業界関連企業を招致して就職説明会を実施し、企業と学生のマッチングを行っている。また、求人票は校内掲示板及びホームページで随時最新情報を閲覧できるよう整備されており、クラス担任・就職担当職員が細かいサポートに努めた結果、希望就職率は100%を維持している。

国家試験対策講座、校内・校外模擬試験、フォローアップチームによる学力不振者の補習等を実施し、国家試験合格率向上に努めている。国家試験不合格者に対しては、卒業後も合格保証制度による授業聴講等を実施し、再チャレンジへの支援・指導体制を設けている。

年6回のクラス担任による個別面談を通じて、学生個々の就学状況を把握して学習指導を行うとともに、外部委託のスクールカウンセリングを活用しながら退学率低減を図っている。

卒業生の状況は、教員や職員が個別に把握するに留まり、学校全体として情報集約を適切に実施できていないことから、卒業後の活躍やキャリア形成等についてはあまり把握できていない。新型コロナウイルスの影響もあり校友会活動が停滞しているが、校友会組織の再編成が行われ徐々に再始動に向けて動き始めた。

② 課題

資格取得率向上に向けた国家試験対策講座の内容及び模擬試験の実施時期・回数については検討の余地がみられる。

学力不振の学生に対し早期状況（基礎学力・就学環境等）を把握し、ケアに努め退学防止を図る。

卒業生の就業状況等の実情把握と、教育活動・広報活動への有効活用。

③ 今後の改善方策

新入生に対して、入学前から就学支援体制（学習・生活指導等）の強化を行い、学生のモチベーションアップに繋がる環境の構築を図っていく。

1年次から就職活動に対する意識を高めることで、国家資格取得の必要性・重要性を実感させ、3年次は早い段階で内定を獲得することで、国家試験受験に専念できる環境を整えて合格率向上に結び付ける。

学生個別面談で得た就学状況についての情報は、教員間で共有を徹底するとともに、内容によっては教職員全体で共有することで問題解決を図っていく。

校友会活動の再始動を支援し活性化することで、卒業生の就業状況把握に向けて連携を図り、転職などの現状調査・把握をするとともに、卒業生の就職先訪問等を実施して学校の教育活動・広報活動に有効的に活用する。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 現状

学生相談等はクラス担任を中心に行っている他、進路・就職に関する支援は就職担当職員も一緒にサポートを行っている。また、外部委託のスクールカウンセリングは学生のみならず保護者の利用も可能となっており、概ね整備されていると思われる。

経済的な支援体制は、学校独自の特別奨学生制度（学費の一部免除）を設け支援を行うとともに、各種奨学金等を活用したサポートを行っている。その他、接骨院等の医療施設で研修を兼ねたアルバイトを紹介しており、在学中から実際の現場で学びながら収入が得られる環境を整えている。

学生の健康管理は定期健康診断を実施し、診断結果を学校医が確認した後、問題のある学生に対して適切なアドバイスを行い管理している。

保護者との連携は、ホームルームレポート（学校通信）の配信を通じ、各種連絡事項や年間スケジュールなど学校情報の提供・共有に努めるとともに、クラス担任が定期的に連絡を取り連携を図っている。

卒業生支援は、国家試験再チャレンジに向けたサポート体制とホームページでの求人情報閲覧の環境は整備されているが、講習会等の有益な情報提供など改善の余地が見受けられる。

高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組は、出張体験実習や部活動訪問により実施している。

② 課題

校友会と連携した学生の課外活動支援体制、卒業生に対する支援体制の整備。

③ 今後の改善方策

校友会支援体制を整備し、活動活性化を行う事で学生の課外活動及び卒業生に対する支援環境を整え教育活動・広報活動に反映させていく。

高等学校や地域スポーツチームとの連携強化による学生の課外活動拡充を図り、併せてキャリア教育・職業教育との連携に結び付ける。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 現状

経年劣化による施設・設備の不具合については、随時修繕・更新を実施しており、定員数に応じた教育上必要性のあるものに関しては概ね整備されている。
通信環境（Wi-Fi）の整備を求める声が多いことから導入に向けて準備を開始した。
防災体制は防災法に則り、耐火設備や緊急時の体制を整え、消防設備点検・建築設備点検等により安全管理に努めている。また、学生に対し定期的に防災教育を実施し、周知を行っている。緊急時備蓄品については継続して充実を図っていく。

② 課題

学生が快適かつ安全に学べるよう学習環境の整備等を逐次実施しているが、老朽化に伴い、継続的な施設・設備の修繕・更新が必要。

③ 今後の改善方策

施設・設備の定期的・継続的な点検・修繕（応急処置）・更新の実施。

(7) 学生の受入募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1

① 現状

募集活動は東京都専修学校各種学校協会の指針に則って適正・適切に実施している。入学実績校を中心に定期的に高校訪問を実施し、在校生・卒業生の近況報告を行い信頼関係構築・連携強化に努めている。
教育成果については、学校案内やホームページ・SNS・各種広報媒体を通じ成果を伝えており、オープンキャンパスや高校内ガイダンス等においても参加者に直接伝えている。
募集定員を満たしていないものの、入学者は微増傾向にある。

② 課題

他校との差別化及びターゲット層拡大の為の施策検討。
募集定員充足に向けたオープンキャンパス等イベント来校者の増員と出願率向上の為の施策検討。

③ 今後の改善方策

オープンキャンパス参加者のニーズに沿った説明・体験実習内容を検討し、出願率向上に向けた施策を実施するとともに、保護者へのアプローチ強化を行っていく。
ホームページやSNSを最大限に活用して学校情報を正確にかつタイムリーに発信し、部活動訪問や高校内ガイダンスにおいて直接的なアプローチを積極的に展開していく。

(8) 財務

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	③	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 現状

教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しており、適正な執行に努めている。負債は無く健全な学校運営に努めているが新入生が募集定員に満たない等により、単年度決算ベースでは支出超過となっている。
私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しており、財務情報についてホームページで公開している。

② 課題

コスト削減、人件費の抑制等。
募集定員の確保による財務基盤の更なる安定化。

③ 今後の改善方策

募集定員の確保による財務基盤の更なる安定化。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 現状

法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営はされている。
個人情報の保護については、適切に保管および管理されているが、各教職員の管理するPC内のデータは規則がなく個人裁量となっている。
自己評価を実施し、評価結果をホームページで公開している。
問題点の改善は随時取り組んでいるが、すぐに対応できない事項もあることから、改善にはもう少しばかり時間を必要とする。

② 課題

情報管理体制の整備及び電子データのセキュリティ強化。
自己評価結果における問題点を教職員全員が理解・共有し、優先事項に従い改善実行が必要。

③ 今後の改善方策

新校務システム（スクールリーダー）による情報管理体制の整備とデータの取り扱いに関する規則の制定。
自己評価結果の問題点改善のためのプロジェクトを設置し、改善策の検討及び改善優先順位の確立と適切な業務分担による改善の実施。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 現状

立川市と連携し、立川シティハーフマラソンで医療救護班として学生ボランティアの派遣を行った。また、立川市健康づくり事業連携事業者登録を行い、地域に対する公開講座等の依頼に対応できる環境を整えているが、新型コロナウイルスの影響により積極的な実施に係る動きは困難な状況であった。

学校の施設を活用した地域貢献として、柔道場を活用し本校教員による小・中学生を対象とした柔道の育成指導を実施している。

② 課題

立川市や近隣地域団体との交流及び連携強化。

今後の社会情勢を考慮し、本校の特性を生かした実施可能な社会貢献・地域貢献の検討と支援環境の整備。

③ 今後の改善方策

社会貢献・地域貢献・ボランティア活動実施に向け準備を整えるとともに、ホームページやSNSによる情報発信を通じて、近隣地域に対し積極的にPR活動を行っていく。

地域の提携しているスポーツチーム（フットサル・バスケットボール）や東京都柔道整復師会多摩中央支部などと協力し、スポーツトレーナー養成コース学生によるトレーナー活動を通じたボランティア活動や地域貢献、学業とリンクする幅広い活動の実施に向け積極的に計画を進めていく。